

令和2年度 学校評価報告書

4 段階 評価	A	ほぼできた	3.2 以上
	B	概ねできた	2.6~3.2未満
	C	やや不十分	2.0~2.6未満
	D	不十分	2.0 未満

4: 全くそう思う 3: そう思う 2: あまりそう思わない 1: 全くそう思わない 0: 分からない

グランドデザイン		評価計画				自己評価				関係者評価		改善策
学校像	生徒像	重点目標	評価項目	達成のための方策	生徒	保護者	教職員	評価	結果と課題	コメント	評価	
地域産業を担う人材を育成する学校 地域産業を担うテクノロジーリストの育成	・生徒自身が自らの成長を実感できる学校 ・自立・協働・創造の資質と人権感覚を持った人材の育成 ・5S教育を理解した人材の育成 ・KY能力をもつ人材の育成	人権感覚の涵養	他者との協働活動を育む指導	<ul style="list-style-type: none"> 対話を取り入れた授業の推進 実習における協働作業 他校の生徒や地域の方々との協働作業の設定 	3.0	3.0	3.1	B	<ul style="list-style-type: none"> 各教科、ホームルーム活動においてグループワークを多く取り入れ、話し合いの場を設定した。実習の準備や片付けなど協力し合って作業に取り組ませることができた。ポリテクカレッジ高松、里山こども園、地元企業と連携しながら、江津市、郡指通、郡指交流コミュニティセンター、JR江津駅・都野津駅でものつくりをテーマに協働作業を行うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 特に、江津本町地区の宿泊施設のリノベーション、空き店舗の改装や電気工事、本町散策の際に休憩できる東屋を制作、細田地域コミュニティセンターの照明工事など地域に出資し、地域に必要とされている目標を共有し、協働を図ることが出来ている。 JR江津駅100周年記念事業では、県立高校3校が協働式典を行ったことは評価できる。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ICT機を活用し、課題提示の仕方工夫して、話し合う場面を多く設定する。 年度当初から具体的な計画を立て実施した。
			人権意識を育む指導	<ul style="list-style-type: none"> 人権・同和教育講演会「メディアと上手につきあう」を開催 人権・同和教育ホームルームを実施(毎学期) 江津署によるSNS講習会(全学年) いじめアンケートの実施(毎学期) 	3.1	2.9	3.1	B	<ul style="list-style-type: none"> 7月の人権・同和教育講演会や各学年で学期毎の人権・同和教育ホームルームを実施し、人権意識を高めた。 3年生は、就職差別、結婚差別について学び、特に就職差別に関する14事項について要領理解を深めて具体的な考えを養う機会を設けることができたが、進学の関心を高める手立が必要である。 いじめアンケートを学期末に行い、早期発見に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続的に人権教育が行われている。今後も引き続き指導をお願いしたい。 人権、同和教育の必要性は重要で、就職、進学を関心関心を高める必要がある。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 伝えたい内容を簡潔にまとめる。 新聞やテレビなどで扱われている時事事象などから人権意識を高める話題を活用し、生徒にとって身近なように語り差別を考へさせることにより、人権教育やSNSに関する講習会・講演会を引き続き外部機関に依頼する。
		学習力の向上	探究的な学びを育む指導	<ul style="list-style-type: none"> 江津高校、江津清和養護、江津工業の3校による協働学習の場 ポリテクカレッジ、企業、行政との連携 地域からのニーズを取り入れたものづくりを主体とした活動 コンソーシアムの設置 	2.8	3.0	2.9	B	<ul style="list-style-type: none"> 江津高校、江津清和養護学校、江津工業の3校による高校魅力化コンソーシアムGO!GO!コンソーシアムを設け、協働で実施できた。 課題研究を軸として、江津清和養護、江津高校、里山こども園、松江工業と連携し協働学習を行うことができた。今後は、江津「未来人材」ものづくり研究発表会を地域や地元企業に内着る場として活用できるよう検討したい。 JR江津駅・都野津駅の100周年事業にもものづくりで参加し、江津清和養護学校・江津高校と連携することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 高校魅力化コンソーシアム、GO!GO!コンソーシアムとの連携により市内の県立高校3校が連携して「まちで学ぶ」活動ができ、特に江津工業高校での「ものづくり」に魅力を感じた。 地域の方々から「江津工業の生徒は」目に見えて頑張っている」といった声を聞くことが多くなった。 生徒にコンソーシアムの意味や意義を伝える必要がある。 外に発信する工夫をしてほしい。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 協働学習を行える機会・内容を検討することにも、地元企業との連携も強化し、ものづくりを通して他校の教育活動の支援を行うことにより、本校の技術向上を図ってみたい。 1、2年生への探究学習の取り組みについて検討が必要である。
			主体的な学びを育む指導	<ul style="list-style-type: none"> 生徒による授業評価の実施(全科目) 試験発表期間中の放課後学習の実施 授業中の様子を把握し、面談を通して理解度を確認 	2.8	2.9	2.5	B	<ul style="list-style-type: none"> 生徒による授業評価を学期末に行い、教員自身の授業の展開について振り返ることができた。 放課後学習により、生徒自らが学習する時間をつくることで、意欲が向上し、授業の取り組みがよくなった。 コロナ禍の影響で、授業時数確保のため主体的学習への時間が割けなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習は重要な事と思う。汽車待ちの場所「ハレトコつ」を活用してみたい。 課題を自分で考え、意欲を持って学習するようにはしていない。 コロナ禍により生徒に達成感を感じさせることができない1年だった。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 各教科において、ワークシートを工夫し、家庭学習に活かせる教材づくりに取り組んでいる。 教員による相互の授業参観の場を設定し、指導案や教材研究に活かす。 コロナ禍の対応策としてICT化の検討が必要である。
		社会人基礎力の向上	挨拶や身だしなみ、掃除などの指導	<ul style="list-style-type: none"> 身だしなみ指導日を設定(毎月) 登校時の教員による挨拶指導(毎朝) HPI活動や授業における挨拶やマナー指導 ゴミの分別の呼びかけ 掃除時間に音楽を流すことによる意識づけ 部活動ゴミ出し日の設定(毎月) 	3.3	3.2	2.8	B	<ul style="list-style-type: none"> 登校時の挨拶指導を毎日行い、校内では概ね挨拶ができるようになった。今後は、校外での挨拶ができるよう呼びかけが必要である。 普段の高校生活や実習などで5S(整理・整頓・清掃・清潔・整)活動に取り組み、教室にポスターを掲示するなど意識を高めている。 身だしなみ指導日を毎月設け、生徒の身だしなみに対する意識づけを行っており、概ね守られているが、指導の徹底と継続が課題である。 掃除時間に音楽をかけることで、時間いっぱい掃除をする意識づけになっている。 ゴミの分別や活動ゴミ出し日を毎月設定することにより、学習環境を整える意識を高めている。 寮日誌を活用して、舎監の共通理解をはかり、挨拶、掃除などの生活指導や環境整備に活かすことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 概ね、江津駅周辺では、挨拶が丁寧であるように思いますが、身だしなみは良くなってきていると聞いています。 地域に向向いの授業での後片付けはきれいに行われています。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 朝礼や実習で挨拶や身だしなみは仕事につなげていることを指導し、普段の呼びかけを根強く続けていく。 保護者とともに掃除や清掃の指導を取りながら指導する。 ゴミの分別については、ポスターなどにより意識づけを行う。 寮においても挨拶や掃除の指導を継続する。
			時間の管理と計画的な行動を育む指導	<ul style="list-style-type: none"> 課題等の提出物を期限内に提出できるように指導 検定試験への計画的な放課後学習 	3.0	3.0	2.9	B	<ul style="list-style-type: none"> 各学科、教科、担任より、資格・検定への指導や提出物の期限を守る等の指導を繰り返している。提出物については、概ね期限内提出を守ることができたが、継続した指導が必要である。 資格取得に向けた意欲はおおむね高いと言えるが、家庭学習へつながるように指導を工夫したい。 提出期限が守れない生徒については、声かけや放課後指導の時間を設けた。 	<ul style="list-style-type: none"> 資格・検定は、新聞などの報道により情報を得ることができました。資格取得に意欲を感じます。 提出物や自主学習など生徒自身の意識の向上を期待します。 自習自励、家庭学習に取り組みながら検定試験や定期試験に計画的に家庭学習時間を確保してほしいとの工夫が必要である。 	B	
		キャリア教育の充実	生徒の進路意識を高める指導	<ul style="list-style-type: none"> 進路ガイダンス、セミナー等の毎学期開催(全学年) 自分設計を促す「ものづくりキャリア・パスポート」の導入 「進路の手引き」の作成・配布と活用促進(全学年) インターンシップ(2年生) 企業見学の実施(全学年) 進路希望調査による意識づけと保護者との情報共有(毎学期) 	3.2	3.1	3.1	B	<ul style="list-style-type: none"> 地元企業見学、インターンシップ、進路ガイダンスなどを実施し、進路意識を高めた。 ものづくりキャリア・パスポートにより各行事を振り返ることができた。 進路の手引きを作成し、生徒の進路活動の支援に役立った。 専任の社内見学や就職までの過程などを卒業生から聞く機会を設け、生徒の進路意識を高めたことができた。 コロナ禍の影響で、県外企業見学が実施できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 県内就職や、地元に残って就職しようとしていることは地元愛を感じます。 卒業生の話を聞いたり、企業見学に行くことは有効であると書きます。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 企業の出前ブースを活用し、地元企業を中心に仕事内容を生徒に発信するしくみを作る。 進路ガイダンスを就職、進学に完全に分けて、進路向けのガイダンスは外部業者を招くなど工夫する。
			進路実現に向けた指導	<ul style="list-style-type: none"> 一般常識ドリル、一般常識テストの活用(3年生) 模擬書指導、面接指導、作文指導(3年生) 資格試験に向けての放課後学習の実施 高度資格への挑戦 	3.2	3.3	3.4	A	<ul style="list-style-type: none"> 就職試験に向けて、履歴書指導・面接指導、作文指導など各科目を工夫し、繰り返し行い、就職希望者の内定率100%を達成した。 常識テスト等を活用し、進路実現に活かした。 資格、検定試験に向けて放課後学習など積極的に取り組むことができた。 県内就職率が過去最高の76.9%を達成した。 進路指導室前に企業ブースを設けた。 	<ul style="list-style-type: none"> 先生方の進路指導については、進路に関する「情報」を生徒に提供することが出来たのではないかと感じます。 資格取得に対して、高い目標にみんなチャレンジすることは素晴らしいと思います。 	A	
		学校の活性化	教育活動や部活動、地域のかかわりの発信	<ul style="list-style-type: none"> ごっこNEWS(江津新聞)の発行 eメッセージの活用 ホームページを毎日更新 江津市総合市民センターでの課題研究発表会の開催 	3.0	3.0	3.3	B	<ul style="list-style-type: none"> eメッセージの新たな活用法として、アンケートPTA総会・新入見学・賞状会を実施して保護者の意見を集めた。生徒の利用について工夫やアイデアが必要である。 学校ホームページにニュース、毎日新しい記事を更新し、日々の様子や行事の発信はできたが、部活動の様子をあまり発信できなかった。 GO!GO!コンソーシアムの発定により、「フリーバーニアオール」を毎月まで発行し、江津新聞を「ごっこNEWS」にリニューアルした。 学校PR動画を制作した。 	<ul style="list-style-type: none"> HPIのニュースにより、学校や生徒の知りたい情報や様子を知ることができた。 入学しようとしている中学生や保護者は部活動の様子に関心が高いと感じます。部活動の情報も多く発信してください。 情報発信は熱心に行われていると思う。広く関心を持ってもらう工夫が必要と感じる。 	B	<ul style="list-style-type: none"> eメッセージのアンケートについては、回答の仕方を簡素化し、操作も少なくして、利用しやすくする。 毎日ホームページ更新のため、記事を1週間単位で計画しておく。
			生徒の安全を考えた環境整備の充実	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化した施設・設備の積極的な更新 	3.0	3.0	3.0	B	<ul style="list-style-type: none"> 修繕工事については、授業や補習に支障のない日程を検討し、行った。 安全確保や衛生委員会を参考に緊急度の高い箇所から修繕改修を行った。 1、2年生の教室の机と椅子を更新した。体育館・格技連の照明LED化、ジェットヒーターの更新。 エントランス階段8台を更新した。 本校および隣接する手洗い場の自動水栓工事を進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化した施設の維持管理は、生徒の安全管理上、大切な事で、引き続き更新をお願いいたします。 日本製紙との協力の場は、とても良いです。 限られた予算の中で優先順位を付けて対応してください。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 学校全体の設備を見て長期的な更新の計画を立てるための調査を行う。 施設、設備の日次点検を定める。